



バイカモから再生学ぶ

熊本から32人招待 川遊びや自然体験

GW三島

4月の熊本地震で被災した熊本県の子どもたちが6日、三島のNPO法人グラウンドワーク(GW)三島の「心を元気にするショートツアー」で同市を訪れ、川遊びや自然体験などを楽しんだ。



ミシマバイカモの手入れ作業を体験する熊本県の子どもたち。三島市南本町の三島梅花藻の里

GW三島は三島の自一度絶滅したが、市民然の中で心を癒やしての力で再生を遂げた「もらおうと、街頭募金と説明を受けた後、手で活動資金を集めてツアーを企画。熊本県菊陽町、高森町、大津町、南阿蘇村、西原村から子どもと保護者32人が参加した。

この日は三島の清流のシンボル「ミシマバイカモ」が群生する「三島梅花藻の里」を訪れ、手入れ作業を体験。スタートから「ミシマバイカモは環境の悪化で一度絶滅したが、市民然の中で心を癒やしての力で再生を遂げた」と説明を受けた後、手で活動資金を集めてツアーを企画。熊本県菊陽町、高森町、大津町、南阿蘇村、西原村から子どもと保護者32人が参加した。

参加した女子児童は「ミシマバイカモはぬるぬるしていてびっくりしたけど、一生懸命手入れすればきれいななることが分かった」と笑顔を見せていた。ツアーは8日までの日程で、三嶋大社や三島スカイウォークの見学、富士登山体験などを予定している。